2025年度版

相澤東病院
医療安全の取り組み

ヒヤリハット月間で重大事故を防止！

部署	目標（件）	報告件数（件）	達成率
診療部	3	5	166%
看護科	36	31	86%
生活支援課	14	29	207%
リハビリ科	13	37	284%
事務部	8	11	137%
入退院支援	3	2	66%
栄養科	2	2	100%
薬剤	4	7	175%
合計	83	124	149%

当院では、開院直後から4半期に1度、全職員を対象に「ヒヤリハット月間」を開催しています。目的は「ヒヤリハット事例を分析し、重大な医療事故を防止する」、「医療安全報告を提出しやすい風土を作る」、「院内全体での医療安全文化をの醸成」です。

6月に開催した時は、報告率149％を達成し、多職種から多くの報告をいただきました。

年に1度の緊急コール訓練を行いました。

「コードブルー」や「コードホワイト」に迅速に対応できるよう緊急コール訓練を年に1度開催しています。患者役職員の迫真の演技でみんな驚いていました。

患者安全管理室より

医療安全を担当する「患者安全管理室」には、医師1名・看護師2名・薬剤師1名・理学療法士1名・作業療法士1名で構成されています。

当院では多職種によるチーム医療を積極的に推進しています。患者安全管理室でも多職種による専門知識を結集し、重大な事故が発生しないよう医療安全文化の醸成に取り組んでいます。

2024年度 たくさんの研修会を開催しました！

- ビーフリード研修会
- 患者急変時の振り返り
- 思い込みによる吸入薬投与量間違いの振り返り
- 3ｂ骨折事例のRCA分析
- 内服薬に関する研修
- 転倒転落・皮膚損傷のKYT
- 内服与薬のRCA分析

内服与薬のRCA分析では、医師を含む約40名の職員が参加しました。重大な事故につながらないよう啓発活動を続けていきます。

日本赤十字社の
公式キャラクター
「ハートラちゃん」

安曇野赤十字病院
医療安全活動の取り組み

当院では「患者さんの権利を尊重し、つねに患者さんに寄り添い、安心・安全な医療を提供します。」という病院の基本方針に基づき、患者さんやご家族の皆さまにも治療に参加していただき、安全な医療を提供できるように努めています。
医療安全推進室では、高齢化社会の今日、医療の高度化・多様化など医療環境が変化する中でも、地域住民の皆さまに安全・安心な医療を提供できるよう、医療安全推進活動を行っています。

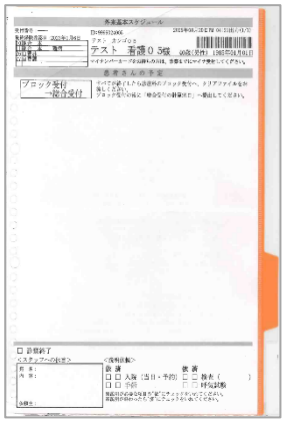
医療安全研修

2024年度の医療安全研修は“職場での心理的安全性を高めていくためには”の内容で院外の医療安全管理者を講師にお招きし、研修を実施しました。

2024年度　外来における転倒・転落対策

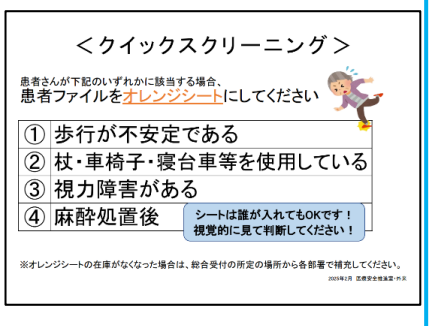
2023～2024年当院外来において、転倒・転落が13件あり、その内レベル3aの転倒・転落が4件発生しました。“転倒・転落におけるハイリスク患者をスタッフが共有し、対応できる仕組み作りが必要である”と感じました。
そこで、2024年4月、外来師長を中心に外来における転倒・転落対策検討部会を作り活動を行いました。
部会では外来・透析室・医事企画課・検査課・放射線課・リハビリテーション課・医療安全推進室からスタッフを選出し、多職種で検討を開始しました。毎月検討部会を開催し、医療安全対策地域連携にてラウンドを実施している他病院の仕組みを参考に当院の対策を検討しました。

患者ファイル



外来スケジュール票を挟み込んでいる“患者ファイル”に転倒・転落リスクの高い患者にはオレンジシートを挟み込むことで、病院職員が外来患者のリスクを共有し、対応していくこととしました。

クイックシート



転倒・転落のリスクは“クイックシート”を作成し、事務職・医療従事者誰もが評価できる基準を作成しました。

デジタルサイネージでの情報発信、廊下等への危険箇所にポスターを掲示し、患者さん・ご家族の方々にも注意して頂くようお知らせしています。

医療安全推進室メンバー

医療安全推進室長、医療安全推進室副室長、医薬品安全管理責任者、
医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者、検査部責任者、
医療事故・紛争担当者、事務職員、看護職員、医療安全管理者で
構成されています。
毎月医療安全推進室だよりを発行し、職員への情報共有を行っています。
（内容：各リスクマネージャーからの取り組み、インシデントレポートの共有など）

まつもと医療センター　医療安全活動の取り組み

医療安全活動として、毎週医療安全カンファレンスを実施しています。「点滴オーダーシステムの設定」や「カテーテル室で使用した中材物品の紛失予防対策」など、取り上げるテーマは多岐に渡り、多職種で検討・共有しています。また、部署別医療安全活動として、診療部・事務・薬剤部・放射線科・臨床検査科・リハビリテーション科・栄養管理科・臨床工学室・入退院支援・看護部それぞれが年間目標を立て、達成に向けて取り組みます。優れた取り組みは年度末に投票によって決定し、表彰されます。看護部医療安全委員会には、看護手順班・医療機器班・急変時班・転倒転落班の４つのグループがあり、グループ毎に部署ラウンドや研修を行っています。

2024年度の診療報酬改定で、「身体的拘束の最小化」に取り組んでいるかどうかが、入院医療の全般に厳しく問われ、急性期から慢性期までの病棟(ICU・HCU含)が対象となりました。

当院でも6月からチームを立ち上げ8月より入院患者拘束ゼロ、尊厳遵守と笑顔にする**「スマイルラウンド」**を開始しました。

現場では、「緊急やむを得ない理由」に当たるかどうか判断力をチームで上げていく、身体的拘束が必要な場面をそもそも減らすケアのスキルアップ研修を行うなど今後活発に活動していきます。ご期待ください。

スマイルラウンドの様子

多職種BLS研修の様子

多職種環境ラウンドの様子

《 グッジョブカード 》

薬剤に関するインシデントが報告された場合、「なぜミスをしたのか」ではなく、「正しい行動をしたから気づくことができた」ということに着目しグッジョブカードを渡しています。カードには看護師長のコメントを添えて表彰します。

2025年度　医療安全活動の取り組み

医療法人聖山会　伊那神経科病院

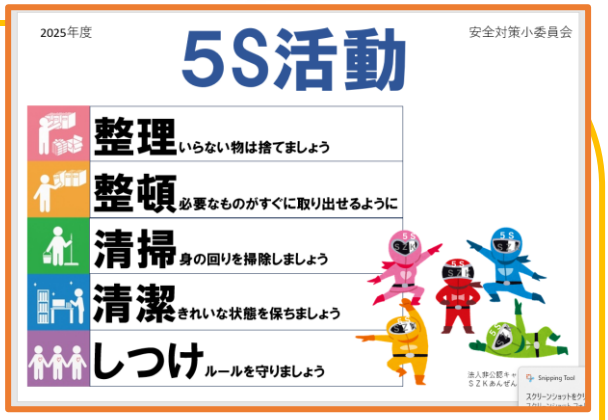
Seizankai

当法人は病院、介護老人保健施設、グループホーム、居宅介護支援事業所で成り立ち、「患者さん・施設利用の方が、安心して安全な医療・介護を受けられるよう努力します」という基本理念のもとに医療安全活動に取り組んでいます。
その中心となるのは法人全体の**安全対策小委員会**であり、そのメンバーは看護師、作業療法士、介護福祉士、ケアマネージャー、事務部職員、調理師と多職種で構成されています。

安全対策小委員会

月１回の委員会にて、インシデント・アクシデントレポートより得られた情報を分析し、医療・介護の改善に資する事故予防策、再発防止策を作成し、医療安全委員会に報告します。その他、職員個々の安全意識の向上を図るために、外部からの医療安全情報の報告、安全ラウンドの取り組みなどを行っています。
法人全体の委員会なので、医療・介護それぞれの場面で発生する事故に対して違った視点から分析ができ、またお互いの職場環境を知る機会にもなっています。

SZKあんぜんレンジャー参上！



当法人では、職員に医療安全に興味を持ち、参加してもらうために2023年度より５S活動に取り組んでいます。
５S活動は医療事故のリスクを減らし、医療安全の基盤を強化することができます。また、「効率的」な業務環境を実現することで、無駄な動きを減らし、本来の業務に集中できる環境をつくることができます。清潔で整った環境は、患者に安心感を与えるだけでなく、そこで働くスタッフにとっても快適で前向きな職場づくりにつながります。
委員会では、この５S活動について少しでも職員に興味・関心をもってもらいたいと考えた結果、

SZKあんぜんレンジャーが誕生しました。
ポスターにも登場し、各部署に掲示したところ、職員からの反応はばっちりでした。
昨年度は各部署で前期と後期で強化する項目をあげ、取り組みました。
評価月には、委員がレンジャーに変身し、各部署をラウンド、その時もレンジャーは人気者でした。
後期は、コロナ感染を配慮して他部署へラウンドすることができず、残念でしたが、今年度も引き続き、レンジャーには活躍してもらう予定です。

Seizankai
略して、**SZK**!!

医療安全活動の取り組み紹介

諏訪共立病院

諏訪共立病院医療安全管理室では、「みんなが元気になれる医療安全」を目指して活動しています。医療安全に取り組むことで業務がどんどん安全に近づく、働きやすくなる、と思っていただけると嬉しいです。多忙な業務の中でもレポートを積極的に出していただけるので、経験や気づきを共有できています。

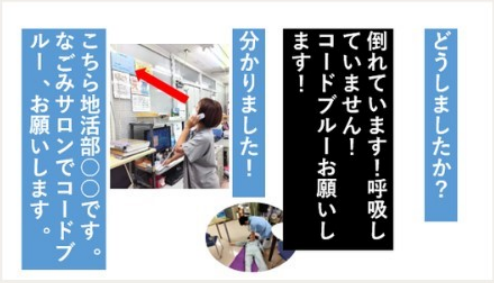
レポートの中から、リンクスタッフによりグッドジョブ賞が選出され、表彰もしています♪去年の景品は鏡餅だったかな。　（医療安全管理室　酒井）

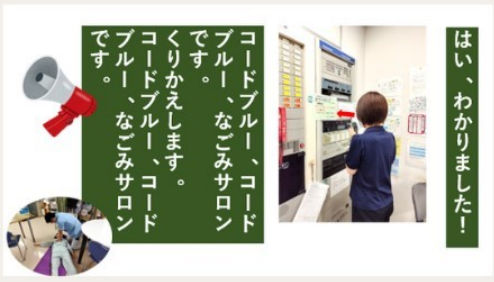
医療安全推進週間に川柳を募集

医療安全推進週間に合わせて、医療安全川柳を募集しました。職員の投票により賞が決まるのですが、今回は最後までデッドヒートを繰り返し白熱しました。毎年沢山ご応募いただきありがとうございます。

コードブルー訓練やりました

売店で誰かが倒れているのを発見！というシナリオで訓練実施。マニュアルと訓練の写真を見比べながら学習も行いました。





BLS普通救命講習会

下諏訪消防署の方に講師をお願いして実施。以前習った時と変わっている、定期的に学びたい、など感想が。

一つ目ダブルちゃん　二つ目シングルちゃん

（諏訪共立病院医療安全公式キャラクター）

医療安全活動の取り組み紹介

当院は
「信頼され、こころのふれあう医療」の実践、病む人の視点に立って質の高い安全な医療を提供することを目指して医療安全に取り組んでいます。

諏訪赤十字病院

研修

多職種での事例分析研修を1回/年実施して、インシデントの分析手法、防止対策をどう考えていくか学び合います。

ニュースレター

今年度から、研修医の先生からの業務改善につながったようなGOOD JOBレポートをレターでご紹介しています。

患者誤認防止対策

患者確認を2項目以上の識別子(氏名、生年月日、患者番号、受付番号など)で確認しています。患者確認と手元の情報(カルテ情報など)との照合をセットで実施して、診療、検査、処置、投薬などの患者間違い防止を行っています。下の左が患者さんへの掲示ポスター、右が職員への掲示ポスターです。

2025年9月　諏訪赤十字病院　医療安全推進室

伊那中央病院
医療安全管理室 の取り組み紹介
MACT編

2025.10

MACT活動

医療安全管理室の基本方針

医療安全風土の醸成のため組織横断的に、院内の医療安全を担う

当院の医療安全問題のひとつ

心電図モニターのアラームが鳴りすぎて環境音となっている

➡重要なアラームが埋もれてしまう
➡アラーム疲労
➡作業の中断、それを取り戻そうとしてミス増える

そこで！ 2023年から、多職種で構成された

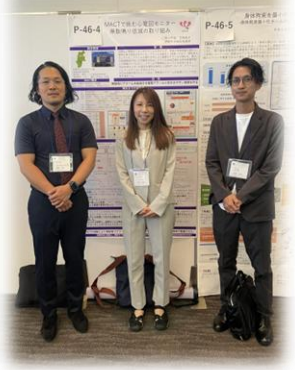
MACT（モニターアラームコントロールチーム）を立ち上げました。

無駄鳴りアラームを低減し、重要アラームに気付きやすい環境にする

◎バイタル、テクニカルアラームの低減化　◎スタッフ教育
◎消耗品の物品管理と運用方法の標準化　◎モニター装着、離脱指示の明確化

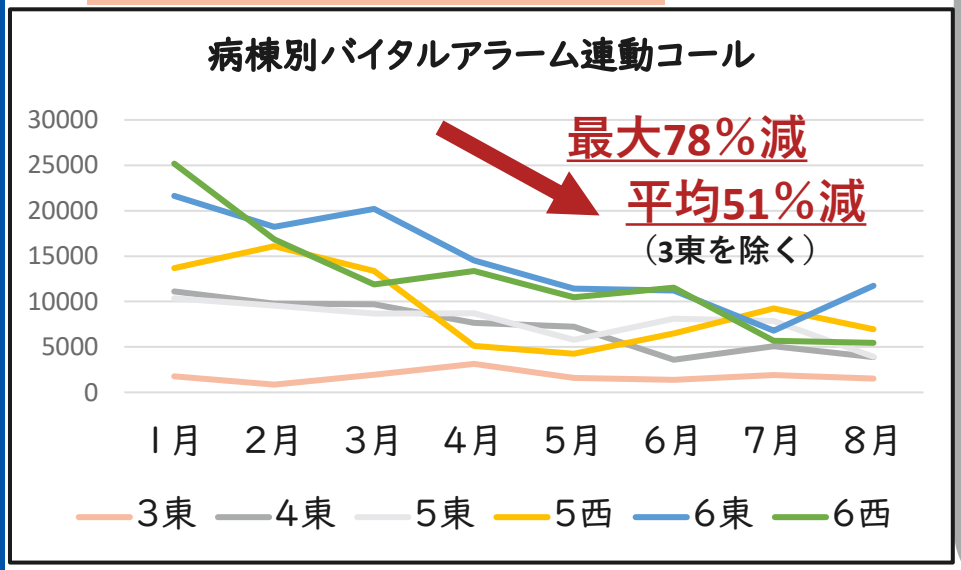
MACTニュース・病棟ラウンド・基準作成
他施設見学で知見を深めました

第29回日本看護管理学会学術集会で成果を発表しました



CEと看護師で参加

活動成果が出ています(^^♪



※ナースコール（バイタルアラーム連動コール）の集計
※3東：整形外科　4東：小児科.皮膚科.形成外科.泌尿器.眼科
5東：循環器内科.消化器内科.耳鼻咽喉頭頸部外科　5西：呼吸器外科.消化器外科
6東：内科.呼吸器内科.腫瘍内科　6西：脳神経外科.脳神経内科.感染病床

アラーム数、内容を見える化
病棟毎現状分析

重要なアラームに気付きやすい環境となり、
モニターアラームに対する**スタッフの意識も向上**しました。

医療安全活動の取り組み

医療法人公仁会　轟病院

医療安全研修

医療安全対策委員会が
企画し、BLS研修
5S活動報告会を
行いました。
次回KYT研修予定です。

インシデントレポートの検証

毎月1回、安全対策委員会を開催し、
インシデントの共有と検証をしています。

確認不足、思い込みのインシデントがなかなか減らない
指差し呼称を徹底してやろう！！

指差し呼称啓発　　ポスター掲示

医療法人公仁会は
病院・グループホーム・居宅介護支援事業所
訪問看護ステーション・訪問リハビリテーションがあります。
各部門多職種と連携しながら、安全対策に取り組んでいます。

Todo
TODOROKI HOSPITAL